

嘉手納飛行場における航空機の運用実態調査（目視調査）の結果

1 調査目的について

嘉手納飛行場においては、同飛行場周辺住民等から、「日頃から外来機が飛来し訓練を実施するため、騒音が増加している」、あるいは「平成18年5月の再編の実施のための日米ロードマップに基づく同飛行場所属の航空機の訓練移転期間中に外来機が飛来し訓練を行っているため騒音が増加し、負担軽減が実現されていない」との御指摘を受けていることを踏まえ、外来機の飛来状況等について、平成22年4月から部外委託により目視調査を実施しています。

2 目視調査結果の活用について

平成27年度目視調査の結果については、1年間の調査を終え、本年6月に公表したところですが、平成28年度においても、同様の調査を継続することによって得られるデータの蓄積を行い、嘉手納飛行場における航空機の運用実態の更なる把握に努め、嘉手納飛行場から派生する騒音問題等に関し、周辺住民の方々の負担軽減に資することができるよう活用したいと考えております。

3 平成27年度調査結果について

- (1) 調査期間：平成27年4月1日から平成28年3月30日（365日間）
- (2) 調査時間：午前6時から午後6時まで
- (3) 調査内容：目視により、嘉手納飛行場の常駐機と考えられる航空機、外来機と考えられる航空機及び判別困難な航空機に区分し、それぞれの航空機の離着陸の状況及び飛行の形態（タッチ・アンド・ゴー等）を把握。

(4) 調査結果：

① 嘉手納飛行場の常駐機と考えられる航空機（11機種）

区分	機種名
戦闘機	F-15
戦闘機以外	KC-135(空中給油機)、RC-135(電子偵察機)、E-3(早期警戒管制機)、MC-130(特殊戦機)、HH-60(救難ヘリコプター)、P-3C(対潜哨戒機)、EP-3(電子偵察機)、P-8A(海洋哨戒機)、UC-12(輸送連絡機)、セスナ機

② 外来機と考えられる主な航空機

区分	機種名	
戦闘機 (攻撃機を含む)	F-16、FA-18、F-22、AV-8 等	
戦闘機以外	空中給油機	KC-130、KC-135 等
	輸送機等	UC-35、C-130、C-17、MV-22、旅客機、C-12、C-40、UC-12、C-146 等
	偵察機等	E-3、RC-135 等
	回転翼機	AH-1、UH-1、MH-60 等

③ 離着陸等回数(離陸、着陸、タッチ・アンド・ゴー、通過及び旋回の合計)

月別	常駐機と考えられる航空機			外来機と考えられる航空機			判別困難な航空機	合計
	戦闘機	戦闘機以外	小計	戦闘機	戦闘機以外	小計		
4月	995回	1,780回	2,775回	181回	420回	601回		3,376回
5月	839回	1,360回	2,199回	110回	520回	630回		2,829回
6月	828回	1,340回	2,168回	1,131回	649回	1,780回		3,948回
7月	1,434回	1,173回	2,607回	534回	524回	1,058回		3,665回
8月	1,248回	1,063回	2,311回	20回	541回	561回		2,872回
9月	1,369回	1,302回	2,671回	18回	649回	667回		3,338回
10月	2,035回	1,348回	3,383回	276回	791回	1,067回		4,450回
11月	966回	1,193回	2,159回	712回	758回	1,470回		3,629回
12月	765回	1,719回	2,484回	709回	703回	1,412回		3,896回
1月	1,507回	1,657回	3,164回	759回	642回	1,401回		4,565回
2月	1,303回	1,063回	2,366回	844回	711回	1,555回		3,921回
3月	887回	1,123回	2,010回	160回	808回	968回		2,978回
合計	14,176回	16,121回	30,297回	5,454回	7,716回	13,170回	0回	43,467回
1日平均	38.8回	44.2回	83.0回	14.9回	21.1回	36.0回	0回	119.0回
割合	32.6%	37.1%	69.7%	12.5%	17.8%	30.3%	0%	100.0%